

【名称】 吉野ヶ里歴史公園

代表者
(ふりがな) 【国営】
業務一課 課長 西村 剛
(にしむら たかし)

担当者
(ふりがな) 【県営】
企画係 係長 木下 俊郎
(きのした しゅんろう)

【連絡先】

住所 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町田手1843

TEL 0952-55-9333

FAX 0952-55-9330

URL <https://www.yoshinogari.jp/>



(コムギ収穫体験の様子)



(田植え)

＜組織の概要＞

吉野ヶ里歴史公園は、「弥生人の声が聞こえる」を基本テーマに、日本の優れた文化的資産である吉野ヶ里遺跡の保存と、当時の施設の復元や発掘物の展示などを通じて、弥生時代を体感できる場を創出し、日本はもとより世界への情報発信の拠点とすることを目的に作られ、平成13年4月に開園しました。

園内は、遺跡エリア(国営エリア)や遊びの原(県立エリア)など、四季を通じて誰もが一日中楽しく過ごせる公園となっています。

＜取組内容＞

吉野ヶ里遺跡があった弥生時代は水田稲作農耕が開始された時代であり、園内に弥生の水田が復元整備されています。

その水田を利用して当時、栽培されていたと考えられる古代米(赤米)の栽培を年3回のプログラムとして実施しています。

このプログラムを通して弥生時代の文化に少しでも触れてもらい歴史に関心を持っていただけるよう、作業には当時の庶民の服(貫頭衣)を着用させ、また稲刈りには石包丁を使用するなどの取り組みを行っています。

また、南のムラにある畑では弥生時代にあったと考えられる野菜等を栽培しており、農の風景の再現とともに、畑作業や野菜等の収穫体験を行っています。

＜年間の主なイベント等＞

南のムラ収穫体験(国営エリア)
一般庶民の住居の畑での野菜などの収穫体験
6月:コムギ
8月:マクワウリ
10月:エダマメ
11月:ソバ
12月:ダイコン、カブ、サトイモ
※生育状況により、収穫体験実施時期等は変動いたします。

水田物語～稲作体験～(県立エリア)
年3回実施するプログラム
5月下旬:田植え
7月上旬:案山子づくり
10月上旬:稲刈り